

岩手県職労

月2回刊=1509号
2018年5月30日 発行
発行日 毎月15日30日
発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内 岩手県職員労働組合
印刷所 盛岡市上田二丁目17-4 有限会社 ジロー印刷企画 一部 40円
組合員購読料は組合費に含む

組織の拡大・強化と要求前進に向けて

職場を基軸に組合員主役の運動構築を

県職連合第24回・県職労第120回定期大会 運動方針と討論のポイント

6月9日開催の定期大会は、県職労結成71年目の新たな歴史の一幕を拓く1年と位置づけ、職場からの運動を基軸とし、賃金・労働条件改善、人員確保等の職場改善を組合員全員の行動のもと果敢に取り組み、評価協議会組織の強化と闘争サイクル構築による職域課題の改善、そのための運動の基盤となる組織の更なる拡大に全力を挙げる等とした運動方針(案)を提起することになっている。支部・分会での事前討議と大会での職場実態を踏まえた活発な討論をお願いします。

①組織強化

【支部への支援体制構築】

闘争期や支部独自要求、組織強化のため、本部専従者や専従経験者の支援を得てオルガナイザーとして派遣。

【組織拡大と青年層の育成】

採用者全員加入のため、分会単位での集まりを開催し、継続的な声かけにより早期加入に取り組み。本部・支部青年婦人部の役員育成に向け、担当専従者を配置し支援体制を構築する。

②賃金・労働条件改善

【賃金改善】

本年4月から退職手当引下げもあり高齢層職員の賃金改善は急務。給与制度の総合的見直しによる現給保障期間満了を見据えた対策を強化する。併せて、若年層における民間給与との格差解消に向けた初任給改善や昇給・昇格運用の改善をはじめ、全世代の勤務意欲が確保できる賃金改善を求めていく。

【専門職種の処遇改善】

医師・薬剤師等の専門職種の人材確保が課題であり、初任給の格付けの改善や諸手当(初任給調整手当等)の改善を求めていく。

【諸手当改善】

自己負担解消の改善を求めていく。

③職場改善

【長時間労働是正】

勤務時間管理の徹底、職場の不払い残業等の点検を強化し、厚労省ガイドラインに基づく適正な勤務時間管理の徹底と超過勤務予算の確保と適正配分を当局に求めるとともに、36協定締結職場における協定締結の意義の学習の強化と協定を遵守させる運動に取り組む。

【人員確保・職場要求の推進】

欠員解消及び業務実態を

消のための手当改善を引き続き求める。特にも、昨年度の確定闘争からの継続課題である、交通用具利用の70キロメートル以上の距離区分新設、高速道路、交通機関を併用する場合の駐車料金の手当支給対象、住居手当の改善を求める。

【赴任旅費の改善】

引っ越し費用が高騰し、自己負担が増加していることから、移転料増額の改善を求める。

【各職能評議会の要求強化】

普及、土木、福祉、保健所など職域での課題共有と討論、独自要求書作成、主管理課交渉の一連の闘争サ

【環境の改善】

公害の老朽化や沿岸部の住居確保が困難なことから、住環境の確保等を強く求める。

④生命と権利を守る取り組み

【人事異動対策】

早期内示はもとより、人事異動上配慮が必要な職員への対策を強化する。

【政治闘争】

安倍政権の改憲を断固許さず、憲法が保障する生存権などの諸権利を社会に浸透させ、暮らし

【制度政策要求】

県職労推薦議員と連携しながら制度政策要求を推進していく。

核なき世界の実現めざして 今年も平和の火を手に県内リレー

「核兵器の悲劇・悲惨さを語り継ぎ、廃絶を訴える」ために「反核平和の火リレー」を今年も取り組みます。

昨年7月7日に国連で核兵器禁止条約が採択され、批准に向けて各国で取り組みが進められています。核兵器禁止条約では核兵器を絶対悪とし、廃絶に向けて取り組むための積極対応を各国に求めています。条約制定に寄与したICANはノーベル平和賞を受賞しました。

しかし、日本は核兵器禁止条約への批准の姿勢を示さないなど、唯一の被爆国としての責任を果たさずとされています。また、政府はフクシマの悲劇を顧みず原発再稼働を進めており、核と人類は共存できない実態に背を向けています。リレーでは核兵器廃絶と脱原発はもとより、自衛隊

6/1~3 平和の灯から採火

6/8 二戸 6/8 堀野近隣公園 11:00 → 岩手県庁前 17:30

6/9 盛岡 6/9 岩手教育会館 9:00 → 金ヶ崎町役場 17:40

6/10 一関 6/10 金ヶ崎町役場 9:30 → 一関駅 15:20

組合員と家族の生活を守る 「じちろうセット共済・あとおし」利用を!

「くみあい」だからできる助け合い。ぜひこの機会にご検討ください。

●じちろうセット共済 30歳以下の組合員限定「若年層型」が新設 「がん診断・がん死亡特約」が全員付帯

●遺族附加年金共済あとおし 死亡・高度障がい時の受取総額の増及び受取期間の見直し 月額保険料1,000円未満の「Eコース」を新設

●募集期限:支部毎に期限を設定。最終申込は6月15日(金)まで ※制度見直しにより、申込用紙は「継続利用(変更なし)」の場合も全員回収となります。

【労働者主役の政治へ】 2019参議院・統一自治体選挙に向け政治学習を強化し、各級自治体選挙の推薦議員の必勝に向けて取り組み。

人生予報、晴れたり曇ったり

雨の日だってあるのが人生。仲間同士の助け合いで備えましょう。入院は日帰りからお支払い。ケガのときは通院だけでも保障。5大成人病の入院も厚くカバー。◆お問い合わせ・お申し込みは組合へ

じちろうの団体生命共済

全労連 全国労働者生活共済連合会
自治労共済本部
全日本自治労共済共済生活協同組合

第五世代

05年9月、地球温暖化対策の一環として「夏の軽装による冷房の節約」をキャッチフレーズに、環境省の主導のもと始まった「クール・ビズ」。このフレーズも既に定着し、当初は6月1日から9月30日までが取り組みの期間であったが、今年度は5月1日から10月31日までの期間に延長され、対策の重要性が伺える。夏の室温上昇による熱中症対策といった健康管理維持のため、職場でのクール・ビズの取り組みも必要だが、私たちが働く職場が、果たして快適な職場環境で執務をされているのか疑問が残る。夏の執務室は必ずしも一定ではなく、冷房時の室温を28℃に設定しても、席によっては、はるかに上回る場所もあり、個人で対策したとしても、職場によって快適な職場環境を維持し続けることは難しい。労働安全衛生法では、職場における労働者の安全と健康を確保することとされており、県では庁舎管理者側と労働組合側が参加する職員安全衛生管理委員会等を設置し、職場点検を実施する。是非、職員の立場に立った点検と快適に業務を遂行できる職場環境となるよう取り組みが重要である。

平和環境県センター

安倍改憲阻止に向け結集を 2019参議院・統一選に向け総決起集会

5月20日、平和環境県センターは「憲法を護ろう！県民総決起集会」を若手教育会館で開催し、300人が結集した。社民党幹事長・吉川衆議院議員が講演。安倍政権の暴挙を批判し、改憲阻止と参議院・統一地方選挙勝利に向け結集を訴えた。

開会に当たり、社民党県連合小西代表(県議会議員)から、「2019参議院選



▲平和憲法をまもろう！5.20県民総決起集会の様子

自治労はたらく女性の集会開催 「男女平等」まだまだ遠い 求められる「適正な人員配置」

集会に参加して

一関支部・一関県税センター
佐々木 結 麻

4月21日、22日、自治労はたらく女性の集会在東京・自治労会館で開催され、県職労からも1人が参加した。集会では、埼玉大学の伊藤修理事兼副学長から、現代社会について説明を受

けた。その中でも、「がんばってはいけない」ということを言っていたことが特に印象に残っている。がんばりすぎてしまうことで社会の根の大問題を隠してしまうという話であった。

方が問題となっている。女性には、妊娠や出産等で職場を長く離れる場合もあるが、安心して休暇を取れるように適正な人員配置が大切なことだと思った。



▲自治労はたらく女性集会の様子

ハラスメントを受けている人も少なくない。自分がハラサーになる可能性もあることを留意しておいてほしい。

基調講演では、社民党全国連合幹事長・吉川はじめ衆議院議員が国会情勢を含めて講演した。吉川幹事長は、「安倍政権による公文書改ざん、労働時間調査データ問題をはじめ前代未聞の事態が生じている。文書改ざんなどの一連の問題は



▲憲法を暮らしに活かす運動の推進を訴える吉川社民党幹事長

さらに、安倍政権が強硬な政権運営を批判した。

成立を目標
む働き方改
革関連法に
関しては
「高度プロ
フェッショ
ナル制度は

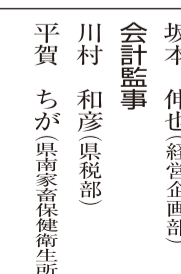
支部長 岩崎 竹史(農業大学校)
副支部長 高橋 俊勝(農村整備センター)
書記長 及川 浩一(農研センター)
書記次長 中野 俊成(中央農改地域G)
執行委員 鈴木 良則(農業大学校)
八重樫富男(土木センター・西和賀)
浅川 知則(農研センター・技術部)
阿部 弘(農研センター・技術部)
勝部 和則(農研センター・病害虫防除所)



小野寺支部長

支部長 長沼 英友(土木部)
副支部長 横澤 和志(土木部)
執行委員 梅木 博之(経営企画部)
佐藤 長市(土木部)
清水 勇一(水産技術センター)
上部 明広(農林部)
山口 正希(漁業取締事務所)
会計監事 鈴木 浩一(経営企画部)
佐々木 浩由(水産部)

支部長 長沼 英友(土木部)
副支部長 横澤 和志(土木部)
執行委員 梅木 博之(経営企画部)
赤堀 拓也(産業技術短大沢校)
書記長 鳥屋部 圭(県税部)
書記次長 増田 隆晴(奥州農業改良センター)
執行委員 及川 竹生(農政部)
及川 敦(保健福祉環境部)
山口 晃輔(林務部)
千葉 亨(農政部農村整備室)
坂本 伸也(経営企画部)
会計監事 川村 和彦(県税部)
平賀 ちが(県南畜産保健衛生所)



長沼支部長

東北ろうきん 2018 サマーキャンペーン

6月1日(金) 7月31日(火)
対象取引のいずれかを
ご利用いただいた方全員に
花王「クイックルワイパーハンディ」をプレゼント!

対象取引
① 定期預金(5万円以上の新規お預入れ、または増額書替)
② 積立型預金「財形預金」「エース預金」の年間積立額5万円以上の新規契約、または3万円以上の増額契約
③ マイプラン(新規ご契約)
④ 無担保ローン「マイカーローン」「無担保住宅ローン」「教育ローン」「フリーローン」のいずれか新規ご契約
⑤ 住宅ローンの新規お申込み

対象者全員プレゼントについて
景品の「クイックルワイパーハンディ」には、ろうきんのステッカーを貼付してお渡しいたしますが、ステッカーの貼付作業を東北6県の福祉施設へお願いし、障がいのある方の自立支援と就労機会の提供を行っております。
東北ろうきんは、今後も「人々が喜びをもって共生する社会の実現に寄与する」と定めた「ろうきん理念」の具現化をめざしていきます。

0120-1919-62
受付時間: 平日 午前9時~午後5時
http://www.tohoku-rokin.or.jp